

# 奈良県感染症情報

平成 30 年 第 8 週( 2 月 19 日～ 2 月 25 日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## インフルエンザ警報発令中です！

### 今週の概要

- 小児科外来情報

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	20.78	(26.65)	↘	↘	↘	↘
2	感染性胃腸炎	5.65	(3.56)	→	→	→	→
3	A群溶連菌咽頭炎	1.97	(1.59)	→	→	→	↗
4	RSウイルス感染症	0.59	(0.47)	↗	↑	→	↓
5	突発性発しん	0.53	(0.09)	↑	↑	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

### ◆ 県内概況 ◆

#### インフルエンザ警報発令中

インフルエンザは、徐々に減少していますが、定点当たり報告数が警報終息基準値「10」を下回るまでは、警報は継続します。引き続き、手洗いの励行・咳エチケットを心がけ、感染予防に努めましょう。

A 群溶連菌咽頭炎(A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎)が、中和保健所の西部地域(旧葛城保健所管内)で報告が多くなっています。A 群溶連菌咽頭炎は、抗菌薬投与により治療できます。医師の指示を守り、きちんと服薬しましょう。感染を予防するには、手洗い・うがいを励行すること、患者との濃厚接触を避けること、またタオルなどの共有を避けることが大切です。

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

インフルエンザの流行は徐々に減少し、1 月末に比し半減しています。B 型が多いですが A 型もよく検出されます。保育園の幼児で、RSウイルス感染症と類似した 4-5 日間 38 度以上の発熱とひどい咳のヒトメタニューモウイルス感染症が流行しています。感染性胃腸炎は増加傾向がみられません。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは前週あたりからピークを過ぎ減少に転じた。今季は、無熱の例や感冒程度の例が多い傾向で、重症経過の例はなかった。

感染性胃腸炎が持続、軽症経過例が多く輸液を要する例はなかった。

咳嗽の多い例があるが RS,hMPV 陽性例はなかった。その他、A 群溶連菌感染症が少し。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザの流行は続いているが、ピークは過ぎた感あり。B 型が減少し、A 型 B 型同数程度になってきた。

下痢や嘔吐の胃腸炎が増加、軽症に経過するも症状は遷延している。また発疹を伴うウイルス性咽頭炎が散見された。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 8 週 2 月 19 日 ~ 25 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部		
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野			
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3			
インフルエンザ	1122 (20.78)	314 (22.43)	257 (18.36)	236 (21.45)	235 (23.50)	29 (14.50)	51 (17.00)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2		
RSウイルス感染症	20 (0.59)	4 (0.44)	8 (0.89)		8 (1.33)				
咽頭結膜熱	15 (0.44)	1 (0.11)	7 (0.78)	5 (0.71)	2 (0.33)				
A群溶連菌咽頭炎	67 (1.97)	14 (1.56)	14 (1.56)	7 (1.00)	27 (4.50)		5 (2.50)		
感染性胃腸炎	192 (5.65)	44 (4.89)	43 (4.78)	44 (6.29)	50 (8.33)	6 (6.00)	5 (2.50)		
水痘	5 (0.15)	1 (0.11)		2 (0.29)	2 (0.33)				
手足口病	4 (0.12)	1 (0.11)	3 (0.33)						
伝染性紅斑	2 (0.06)			2 (0.29)					
突発性発しん	18 (0.53)	4 (0.44)	5 (0.56)	5 (0.71)	4 (0.67)				
(百日咳は全数把握対象疾患となりました)									
ヘルパンギーナ	7 (0.21)	1 (0.11)	5 (0.56)	1 (0.14)					
流行性耳下腺炎									
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0		
急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1		
細菌性髄膜炎									
無菌性髄膜炎									
マイコプラズマ肺炎									
クラミジア肺炎									
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)		2 (1.00)						

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(中和1) 百日咳1件(郡山1)、梅毒1件(奈良市1)

❖ 第 8 週のトピックス ❖

・A型肝炎ウイルスによる食中毒の予防について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinzenbu/0000194862.pdf>

今般、宮崎市において発生したA型肝炎ウイルスによる食中毒の調査において、患者が喫食した同ロットの加熱調理用の中国産殻付きアサリからA型肝炎ウイルスが検出され、遺伝子検査の結果から患者便から検出されたA型肝炎ウイルスと同一である可能性が高いとの報告がありました。  
従来よりA型肝炎やノロウイルスに係る食中毒や汚染実態の調査においても二枚貝の関与等が指摘されているところですが、改めて、加熱加工用の二枚貝の調理時の加熱不足や取扱い等について、下記により、消費者、食品等事業者に対する指導等を行うとともに、食中毒の原因究明にあたっては十分に留意されるようよろしくお願い致します。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男	1	3	23	28	50	44	33	29	33	23	86	25	21	14	35	30	29	13	8	556	6818		
	女	3	7	19	20	32	41	27	36	30	33	18	80	30	25	30	43	31	23	21	17	566	6757	
RSウイルス感染症	男		2	6	2	1			1													11	96	
	女	2	2		3																		9	80
咽頭結膜熱	男			5	1	1																7	36	
	女		1	6																		8	31	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1	2	5	3	6	4	4	3	5	1								35	242	
	女				4	2	2	4	3	6	2	3	5		1							32	214	
感染性胃腸炎	男	1	4	14	16	13	13	10	4	5	2	4	11	1	11							109	697	
	女	1	4	10	5	10	4	9	5	4	1	2	7	2	19							83	609	
水痘	男					1		2														5	29	
	女											1	1									5	45	
手足口病	男				1																	1	9	
	女				1	1																3	15	
伝染性紅斑	男							1														1	6	
	女																					1	2	
突発性発しん	男		1	8	1																	10	46	
	女		5	3																		8	42	
(百日咳は全数把握対象疾患となりました)																								
ヘルパンギーナ	男			3																		3	10	
	女			3	1																	4	8	
流行性耳下腺炎	男																							6
	女																							11
急性出血性結膜炎	男																							6
	女																							7
細菌性髄膜炎	男																							1
	女																							1
無菌性髄膜炎	男																							1
	女																							2
マイコプラズマ肺炎	男																							4
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男			1																			1	5
	女		1																				1	6

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

